

経営理念

基本理念

地域金融の円滑化と利便性の向上に努めることにより、中小企業の健全な発展、地域住民の生活向上および地域社会の繁栄に貢献してまいります。

基本姿勢

1 ▶ お客様本位の経営

お客様にご満足いただける質の高い金融サービスを提供し、真にお役に立つ地域金融機関となります。

2 ▶ 健全かつ透明性の高い経営

健全経営に徹するとともに、適切な情報開示に努め、信頼され、親しまれる地域金融機関となります。

3 ▶ 活力ある経営

チャレンジ精神に溢れ、自由闊達な企業文化を創造し、働きがいのある地域金融機関となります。

足利小山信用金庫のデータ

本店所在地	栃木県足利市井草町2407-1
店舗数	24本支店7出張所(うち共同出張所3)
預金残高	3,188億円
貸出金残高	1,533億円
出資金	11億円
会員数	25,573名
常勤役員数	277名

(2021年3月31日現在)

シンボルマーク

▶ デザインコンセプト

このシンボルマークは、足利小山信用金庫がお客様とともに明るい未来に向かって力強く飛躍する姿をイメージしたものです。



ASHIKAGA OYAMA SHINKIN BANK

▶ イメージカラー

イメージカラーの「ブルー」は、お客様と地域社会を大切にする真摯な経営姿勢と広域ネットワークを生かした質の高い金融サービスのご提供をイメージしています。また、「レッド」は、お客様の「夢」や「希望」をイメージするとともに、お客様の真心こもった関係と、地域社会の発展に積極的に貢献していくこととする情熱をイメージしています。

足利小山信用金庫SDGs宣言

足利小山信用金庫は、経営理念に基づき、国連が提唱するSDGs(持続可能な開発目標)の達成のため、「地域社会への貢献」「地域経済の発展」「人材育成」「環境保全」を重点項目として地域社会の繁栄に貢献していくことで、SDGsが目指す持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2020年3月30日
足利小山信用金庫

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▶ SDGs (エスディージーズ)

SDGsは、2015年9月に国連サミットで採択された「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」の略称で、「誰一人取り残さない」との基本理念のもと、貧困や飢餓、水、保健、教育、医療、言論の自由など、人々が人間らしく暮らしていくための社会的な基盤を2030年までに国際社会が達成するという共通の目標です。

足利小山信用金庫のSDGsへの取り組み

項目	主な取り組み	関連するSDGs
地域社会への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 献血運動の実施 地域行事への参加 特殊詐欺等の金融犯罪防止のための取り組み 認知症サポーターの養成 小山市内4者間で「地方創生ならびにSDGs推進に関する包括連携協定」の締結 	
地域経済の発展	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスマッチングの推進 金融仲介機能の発揮による地域の中小企業等への支援 各種機関、団体との連携による地域課題の解決や地域活性化への取り組み 	
人材育成	<ul style="list-style-type: none"> 職員の人材(人財)育成 小学校での金融経済教育の実施 中学校、高校生向けの職業体験学習の実施 大学生対象インターンシップ開催 経済セミナーの開催 ユネスコ世界寺子屋運動 育児休業中の職員を対象に「パパ・ママミーティング」実施 男性職員の育児休業取得 ワーク・ライフ・バランスへの取り組み 	
環境保全	<ul style="list-style-type: none"> クールビズ、ウォームビズの実施 LED照明導入による省電力化の実施 環境に配慮した金融商品の取り扱い 環境配慮型通帳の採用 再生紙の活用 渡良瀬川や渡良瀬水地のクリーン運動参加 電子化促進によるペーパーレス化への取り組み グリーンボンドへの投資 通帳レスサービス 	

(2021年3月31日現在)

▶ 目次

ごあいさつ

2020年度 業績のご報告	2
足利小山信用金庫の役割と取り組み	4
リスク管理態勢	14
総代会	16

商品・サービスのご案内	18
沿革	22
資料編	23
経営体制	47
店舗ネットワーク	48

当ディスクロージャー誌は信用金庫法第89条(銀行法第21条準用)に基づいて作成しています。

本誌に記載の計数は原則として単位未満を切り捨てて表示しています。したがって項目ごとの合計の計数が一致しない場合があります。